学校自己点検・自己評価表　　各種学校）　2023年度

岩谷学園ひがし北海道日本語学校

１．学校の教育目標

「わが学園は教育を通して『努力心』『誠実心』『独立心』を養い、平和社会の建設に貢献する人材を育成することを使命とする」
この本学園の建学の精神のもと、「日本社会で学んだり仕事をしたりすることができる日本語能力と社会人力を付けた人材を育成する」ことを教育目標として掲げ、その実現に努力している。

２．本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

・「学校法人岩谷学園と中標津町岩谷学園誘致の会、中標津町、中標津町商工会との岩谷学園ひがし北海道日本語学校開設等に関する連携協定書」に基づき、地域に根差した日本語学校運営の方針を定める。
・留学生の定員確保に向けて、改善・改革にチャレンジする。
・留学生と中標津町民との交流事業促進
・質の高い教育を担保する
・管理・優良運営を徹底し適正校認定を目指す
・地域に愛される学校としての地位を確保する

３．評価項目の達成及び取組状況

（１）教育理念・目標

委員の評価	A

評　価　項　目
学校の理念、目標、育成人材像が定められているか
学校の理念、目標が社会の要請に合っているか
学校の理念、目標、育成人材像が教職員、学生に周知されているか
学校の将来構想を抱いているか

①課題

地域に根差した日本語学校運営の方針づくりに向けて、各関係機関と一定程度の議論は進んだが、深堀する必要がある。

②今後の改善方策

留学生が地元で生活している2年目であり更に議論を重ねたうえで、次年度に方針づくりをしたい。

③特記事項

・毎月1回の部門会議で協議し、組織全体として行動できるように努めた。

（２）学校運営

委員の評価	A

評　価　項　目
学校の理念、目標に沿った運営方針が策定されているか
運営方針に沿った事業計画が策定されているか
管理運営に関する規程が整備され、規程に基づいた運営が行われているか
意思決定が組織的に行われ、有効に機能しているか
運営上の行動規範遵守のためのコンプライアンス体制が整備されているか

①課題

・地域性を活かした学校運営の方針、事業計画が策定されているが北方領土関連学習（座学・語り部・洋上研修など）は、北方領土隣接地域でロシアのウクライナ軍事侵攻で極めて難しい地域事情もあることから実践できなかった。

②今後の改善方策

地域の意見をまとめ、学生が地元で生活している2年目であり更に議論を重ね事業計画を策定する。

③特記事項

毎月の誘致の会会議や連携協定機関との話し合いは勿論のこと、町内会等との話し合いも積極的に行うことができた。

（３）教育活動

委員の評価	A

評　価　項　目
教育理念に沿った教育課程の編成、実施方針が策定されているか
学生が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか
カリキュラムは体系的に編成されているか
成績評価、進級、卒業判定の基準が明確か
授業評価の実施、評価体制があるか
教員の能力開発のための取組みが行われ、教育活動の改善に活用されているか

①課題

教育効果の高い授業の組み立てにおいて、教職員間のチームワークとコラボレーションを更に向上させる。

②今後の改善方策

学生への授業アンケートの実施とフィードバック。

③特記事項

学園研修に加えて教員の能力開発への取組の推進。

（４）学修成果

委員の評価	A

評　価　項　目
進級及び卒業判定が適切に行われているか
日本語能力試験等の外部試験結果を把握しているか
学生の希望に応じた進路指導をしているか
学生の進路を適切に把握しているか

①課題

初めての卒業生を出す年度であり、特に進路指導では今後実績を積み重ね適切に取組まなければならない。

②今後の改善方策

地域の特性を活かし、個々の学生に応じた指導に取り組む。

③特記事項

卒業後の進学先である上級学校との連携を進める。

（５）学生支援

委員の評価	B

評　価　項　目
学生の学習相談に対する支援体制が整備されているか
学生の進路に対する支援体制が整備されているか
学生の健康管理を担う組織体制があるか
学生の生活環境への支援体制が整備されているか
防災や緊急時の体制が整備されているか

①課題

・生活面での地域ぐるみの支援体制の議論を継続して進める必要がある。

②今後の改善方策

誘致の会や地元経済団体等との話合いを重ねる。

③特記事項

・昨年度から引続き誘致の会ワーキング部会で、生活支援の議論をすることができた。
・避難訓練及び交通安全教室を6回実施した

（６）教育環境

委員の評価	B

評　価　項　目
施設・設備が教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
教材・教具が適切に使用されているか
学習効率を図るための環境整備がされているか

①課題

夏季が酷暑で校舎がエアコン未整備のため授業に苦労した。

②今後の改善方策

次年度で検討する。

③特記事項

施設・設備の適切な修繕や管理マニュアル策定ができた。

（７）学生の受け入れ募集

委員の評価	A

評　価　項　目
学生の募集活動が適正に行われているか
学生の募集活動において学校の情報が正確に伝えられているか
学納金が妥当なものとなっているか

①課題

留学生入国2年目であり本年度も新設校となった。

②今後の改善方策

・管理・優良運営を徹底し適正校認定を目指す

・2024年度4月期生の受け入れも含め、町行政及び関係機関との連携協力体制を維持し、募集活動に活かす。

③特記事項

連携協定の各関係機関を中心に地域特性を活かしたネットワークで新たな留学生確保に取り組む議論が進んだ。

（８）財務

委員の評価	A

評　価　項　目
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
予算・収支計画が有効かつ妥当なものとなっているか
財務について会計監査が適正に行われているか
財務情報公開の体制整備はできているか

①課題

コロナ禍の影響により学生が定員の約4割と少ない中での適正な予算作成と執行。

②今後の改善方策

この地域特有の留学生確保など新たな国からの留学生募集の強化。

③特記事項

公認会計士事務所による監査を実施している。

（９）法令等の遵守

委員の評価	A

評　価　項　目
出入国管理及び難民認定法令及び関連法令等の遵守と適切な運営がされているか
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
自己評価結果を公開しているか

①課題

個人情報に関する法令の理解の深化

②今後の改善方策

部内研修の充実

③特記事項

個人情報保護・情報セキュリティ・要配慮個人情報について冬季部門研修を行った。

（１０）社会貢献・地域貢献

委員の評価	A

評　価　項　目
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
地域と連携した交流事業促進の取組みをしているか

①課題

留学生と中標津町民との交流事業促進は、概ね計画通り実践できたが、一部の事業で計画から実践までに時間の余裕がないことがあった。

②今後の改善方策

地域に根差した学校運営を充実させるため、これまで以上に信頼を高めて行く。

③特記事項

各関係機関と各種交流事業の実施内容の議論は一定程度進んだ。

※　各評価項目における評価点（「適切：４」、「ほぼ適切：３」、「やや不適切：２」、「不適切：１」）
その平均値（小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで表示）を以下の基準により表示した

評価	基準
A	4.0 ～ 3.6
B	3.5 ～ 3.1
C	3.0 ～ 2.6
D	2.5以下

評価者：岩谷学園ひがし北海道日本語学校教職員

（評価期間：2023年4月1日～2024年3月31日）

【１】評価委員

１．校内教職員：4名

２．学園役員：３名

３．学園本部職員：２名

【２】評価スケジュール

８月：学校関係者評価委員会

８月～９月：学校自己点検評価シートの作成

10月～11月：学校自己点検評価シートの確定

12月～１月：自己点検を実施

２月中旬：自己点検評価シートの回収

２月下旬：取り纏め

３月中旬：理事長報告と公開決裁

３月末：HPにて公表